



**N.S.ニュース速報A**

**NSDAP/AO : PO Box 6414**

**Lincoln NE 68506 USA**

**www.nsdapao.org**

#1104

11.05.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen)

## 第二の革命

### 第二巻：人民の国家

#### 第1部

#### まえがき

「人民国家」は、来るべき第二革命に関する私のプログラムの著作の第二巻である。

第1巻「Glaube und Kampf」（信仰と闘争）では、主に若い世代の国家社会主義者の世界観を扱ったが、今回は全ドイツ人の新しい帝国の形態とデザインについてである。

政治的日常生活における私たちの主な要求は、次のとおりです：

**"LIFT NS BAN! "**

新しくなった国家社会主義ドイツ労働者党の自由な発展なくして、国家の再生はありえないからである。この目標は、同志の輪の中では議論の余地

のないものであるが、しかし、一般大衆の間では、いまだに広く理解されないでいる：

骨抜きにされた政党制度への不満が高まり、国家社会主義も肯定的に捉えられるようになってきた。しかし、国家社会主義を、現在と未来の問題に対する答えを持つ思想ではなく、1945年に跡形もなく消滅した統治形態と見なす傾向が強すぎる。このように、アドルフ・ヒトラー、彼の思想、彼の国家に対する関心の高まりは、政治的というよりも歴史的なものです。もし私たちが人々の間で革命的な力として真剣に受け止められたいのであれば、これを変えなければならない。

私たちは、もはや「制服フェティシスト」として、「ヒトラーのハーレクイン」として見られることを望んでいません。私たちは、左側に立つ精神のスローガンに反論します。私たちは右からの革命を計画し、夢が埋もれていない生きた運動の伝統と変容を示すのである：

法と自由、生活空間と世界権力、人種と民族、西洋とユダヤ人問題の最終解決、資本主義と共産主義を超える第三の道、ドイツ人民共和国という夢。

私は、この第2巻の枠組みの中で、これらの夢を確かな形にして、ドグマを作るのではなく、-私たちは盲目のドグマ主義者ではない-新しい、より美しいドイツの輪郭を描きたいのです。しかし、世界観をイデオロギーに変えることなく、我々の思想の原理を新たに提示する必要があったように、未来の国家社会主義人民国家についての我々の思想も提示しなければならない。詳細は革命的発展に委ねられるが、原則は表明されなければならない。

同志の中には、私が『我が闘争』の中に永遠に記されている真実や考えを改ざんしたり、解釈し直したいと思っているのではないかと非難する人がいるかもしれません。しかし、それは私の考えとは全く異なるものです！

指導者アドルフ・ヒトラー、その仕事と人生は、すべての真の国家社会主義者にとって最高の権威であり、達成不可能なロールモデルであり続けて

います。

そして、私たち--占領され、粉々になった国の民族的・社会主義的青年は、勝利への道を考える権利がある。ノスタルジーは政治に取って代わるものではない！

だから、この言葉をサブタイトルに選びました：

ルイ・ナポレオンと毛沢東の間の国家社会主義、これは一部の古い運動家にとって疎ましく思えるかもしれない。もちろん、ボナパルティズムや毛沢東主義との接点は確かにあるが、偉大なコルシカ人の甥と成功した中国の革命家が国家社会主義者だったと主張しているわけではない。しかし、それは別のことなのです：

ルイ・ナポレオンの第二次フランス帝国は、偉大な英雄が-権力政治の失敗にもかかわらず-小孫を鼓舞して再編成を成功させることができることを私たちに証明しています。

しかし、毛沢東は、革命が必ずしも、官僚的な党幹部の飽食と自己満足の「新階級」で終わる必要はないことを、私たちに証明した。彼は、絶えず更新される党が、反動の迫り来る危険を追い払うことができることを、世界中の革命家たちに示した。

しかし、わが帝国の輝かしい再生を形作るための第三の政治的模範は、「第二革命」の概念を生み出し、そのために命を捧げたSA参謀長、エルンスト・レームでなければならない。

しかし、これらすべては、アドルフ・ヒトラーの巨像と大ドイツ帝国の記憶を背景にしてのみ意味を持つ。この帝国は12年間、ドイツ人の悲願、すなわち偉大さ、尊厳、栄光、自由、社会正義への切望を実現したが、敵の優位性と反動による裏切りによって崩壊した。父祖の遺産は、私たちの中に生きています。

いつかリベンジの日がやってくる！

『信仰と闘争』ですでに述べたことを、ある点では私自身が繰り返すことに

なるが、今はそれを別の文脈で見ることができる。それ以外の点では、ゲッペルス博士が、真実は何度言っても足りないということを私たちに教えてくれた。

私も投獄中にこの行を書き、私のオープンワードの危険性を自覚していません。

しかし、私は生まれながらにして自由なのです！私はドイツ人であり、占領下の共和主義者ではない！45年戦争の勝者の政治的な拘束など、どうでもいいのだ。私は自分の意見を言う！

ドイツについてです。誰が卑怯な立ち回りをしたいのか？

私たちに太陽は沈まない！

## 1. 国家 (THE STATE)

"帝国は平和だ！"-ルイ・ナポレオン

### 歴史的な例：第二帝国の場合

1815年、ナポレオンが最終的に敗北した。

ワーテルローの戦いは、フランス側にとっては、経験の浅い若者と、何年も続いたヨーロッパ戦争の退役軍人の虐殺に過ぎなかったが、敗北し、偉大なコルシカ人はセントヘレナに追放され、数年後に辛く寂しい死を迎えた。

彼の敗北、彼の死とともに、彼の夢も死んだ--ように思われた。ヨーロッパ全土を戦争で覆い、やがて支配した強大なフランス帝国は、粉々に砕け散った。彼の痕跡は残されていない。ナポレオン帝国のシンボル、称号、思想は、ヨーロッパ全土で禁止された。ワシは歴史の塵となり、血の川と勝者の呪いの下に埋もれた。

帝国の元帥や高官たちは迫害され、勝者がフランスに決めた体制、つまり反動的な王室支配であるアंकレン体制に奉仕しなければ、悲惨な生活を送ることになった。王位継承者であるナポレオンの一人息子は、オーストリアの王子として育てられ、若くして亡くなってしまった。

皇帝のもとで大陸の支配者であったフランス人は、栄光と成功の時代に皇帝を熱狂的に応援し、ほとんど最後まで応援していたが、干からびたようになった。皇帝の軍隊の大部分はロシアに留まり、衛兵隊は最後の戦いで自らを犠牲にした。何十万という精鋭が倒れ、しかも皇帝は敗れた。

フランスでは、シーザー・マニア、血塗られた獣、奔放な個人的野心と栄光への虚しい渴望のために国民を犠牲にした誇大妄想家のことが話題になった。跡形もなく消え去り、地上から消し去られた旧体制を擁護する声をまだ上げている人々は、世論や維新の子分たちによって引き裂かれる危険にさらされていました。勇気も希望もなく、皇帝に忠誠を誓う者はほとんどいなかった。帝国は、わずか10年しか存在しなかったが、それは夢だった。少数の忠実な人々にとっては叶わぬ憧れであり、大多数の人々にとっては耐え難い悪夢であった。-

数年後、皇帝の棺がセントヘレナからパリに移されたとき、人々の雰囲気は一変していた。かつての「*Vive l'empereur!* - 皇帝万歳！」

偉大な死者の兄弟や元帥が、歴史的なユニフォームを着て棺の前に立っている。しかし、それはあくまでも哀愁であって、未来があるわけではなかった。群衆の叫びは--決して国民の大多数ではない--勝利の記憶しか残っていない死者へのものだった。跡継ぎもいなければ、新しい始まりへの希望もない。それはどのようなものだったのだろうか。

ヨーロッパのすべての国は、ナポレオンがフランス国家のトップに立つことを二度と容認しないことに合意し、腐敗した王国を全力で支援したのである。このシステムは国民に特に人気があったわけではないが、一定の繁栄、経済の安定、平和を確保することができた。そして、ボナパルティズムの後に必然的に起こる悲惨な結末を絶え間なく警告した。皇帝に忠誠を

誓う弱小集団の運動はことごとく鎮圧された。国民は無関心なままだった。

その頃、遠く離れたスイスに、突飛で狂った夢を持つ青年が座っていた。彼の母国語であるフランス語は、奇妙なドイツ訛りで話し、フランスでは入国禁止になった。彼の名前はルイ・ナポレオン、皇帝の甥である。

彼は天才ではなかったが、愚かでもなかった。叔父のように人を惹きつける魅力はなかったが、彼には勇気があった：狂う勇気があった！

この若い冒険家がフランス皇帝の座を狙うなんて、とんでもないことじゃないか？ほとんどの人は笑い、ある人は彼の行動を怪訝に思い、数千人だけが彼を信じた：

ナポレオン戦争の退役軍人や、王国の出て行くブルジョア時代の息苦しさを思っていた若者もいる。笑い者たちは正しかった。王子による2度の馬鹿げたクーデター計画は惨めに失敗し、2度目は逮捕につながり、何年も投獄され、そこからようやく夢の廃墟を残して海外に脱出することに成功する。

帝国の終焉から30年、王政復古の安定に陰りが見えはじめた。経済的な困難が増し、労働者や若者が反乱を起こし、王は逃亡した。

ワーテルローから33年後の1848年、革命は勝利する。

ボナパルティストは、この革命的な自由運動の一部に過ぎず、決して最大のものではありませんでした。夢想家、冒険家という少数派であったが、ついに禁止令は下りた！しかし、ボナパルティストたちは、死んだ皇帝の功績と偉大さを公然と記念することを許され、この数ヶ月でナポレオンはようやく国民の英雄となった。ナポレオンは、今日に至るまで英雄であり続けている。

この年の大統領選挙は、この若い共和国にセンセーションをもたらした。国内の数多くの政治団体の誰もが、これを予想していなかった

:

フランスではほとんど誰も個人的に知らなかったルイ・ナポレオンが、何十年にもわたる禁制の後、初めて公然とその信奉者が現れ、それまでは失敗した冒険を通してしかフランス人の注目を集めなかったが、圧倒的な多数で大統領に選ばれたのだ！「フランスが選んだのは人ではなく、ナポレオンという名前だ」と、政治家たちは言った。

しかし、さらなる感動が続いた。驚きと衝撃を受けた諸外国は、達成された事実を前にして、なすすべもなかった。彼らは、ナポレオン大統領なら受け入れるが、ナポレオン皇帝は絶対に認めないと脅した。

「帝国は戦争を意味する！」と彼らは言い、フランスでは皇太子殿下の反対派がこれを100万回繰り返した。彼らにとって帝国とは、戦争、国境の拡大、絶え間ない戦闘、征服されたヨーロッパ、ローマの伝統を受け継ぐ世界帝国の再興を意味していた。外国はこれを受け入れず、フランス人自身も、ナポレオンのフランスに対してすべての国家を絶滅させる戦争の新版が起こることを恐れていた。

プリンス・プレジデントは、2つの道しか残されていないように思えた：

ルイ・ナポレオンは、叔父が失敗したところでその遺産を受け継ぎ、戦争に挑むことができた。彼に従う者はほとんどいなかっただろうし、彼は皇帝の軍事の天才を受け継いでいなかった。偉大な死者が敗れた場所で、どうして彼が勝つことを望んだのだろうか。

第二の方法は、帝位を放棄し、ボナパルティズムを民主的な共和主義運動に変えることだった。それは基礎の放棄であったろう。

ルールのナポレオンは第三の道を選び、皆を驚かせ、歴史にその名を刻み、我々国家社会主義者の政治的模範となった。彼は、ナポレオン帝国の再興を推進するため、国内を旅した。しかし、彼の演説はどれも、最初は信じられないような、「帝国は平和だ！」という反抗的な宣言で締めくくられた。

ルイ・ナポレオンは、自分がコミットしている偉大な遺産を裏切るこ

となく、ただ叔父の敗北の結果を引き出しただけで、彼の名声に触れることも、目的を変更することもなかったのです：

- 大国としてのフランス - しかし、経済的成功と技術的進歩のおかげで。
- 国境を変える - ただし、経済的・政治的圧力をかけて。
- フランスは大陸の決定的な権力者として、しかし巧みな外交術によって
- ローマの伝統 - しかし戦争はない。

"帝国は平和だ！"

ルイ・ナポレオンは、皇帝の国内における偉大な功績--行政、司法の運営、国民の自覚と自信の向上、国民の団結と熱意--を思い起こし、その上に立つことを約束した。

"帝国は平和である！私も皇帝のように偉大な征服があるのだ"と語った皇太子大統領は、貧困の撲滅、技術・経済の進歩、フランス内部の偉大さについて語った。

1852年、ルイ・ナポレオンは共和制憲法を廃止し、国民投票の結果、フランス人の大多数が彼を帝位に就かせた。ナポレオン3世と名乗った。外国は黙っていた。不可能を可能にしたのである：

ナポレオンの完全な敗北と追放から37年後、再びボナパルト家からフランス皇帝が誕生した！

あとは歴史です。1870年にドイツに軍事的に敗北するまで安定を保った帝政の下、フランスは驚異的な発展を遂げました。近代的なパリが生まれ、鉄道が敷かれ、国が開かれ、工業化が進み、何十年にもわたって大陸の仲裁者としての役割を担ってきた。ルイ・ナポレオンは天才ではなかったが、フランスの愛国者として、また偉大な人物の後

継者として、自分の義務を果たした。記念碑もなく、彼は忘れ去られてしまった。

しかし、偉大なナポレオン、かつて失敗したように見えた皇帝は、前世紀で最も偉大なフランス人と考えられている-そして、おそらく彼はそうだった。彼がゼロから始め、甥が続けたことが、フランスを「大国」に形作った。

## 法律と自由

国家の生活において、政治には3つのレベルがあります：

- 歴史的課題と民族の生きる意味
- 国家・行政・経済の統治について
- 市民個人の生活圏を形成すること。

国家社会主義人民国家を考えると、第一のレベル、すなわち、われわれの歴史的存在の意味は、われわれに強いるものである。個人が自分の幸福と人生に絶望するのと同じように、国家もまた、その歴史的使命を見誤り、自分自身に意味を見いだせなくなり、大衆の魂をめぐる闘争の感覚を異にすれば、自己破壊に陥るのである。

このような状況は、西欧の民主主義体制で顕著に見られる。彼らは自らを「多元的社会」と呼び、あらゆる政治的、思想的、宗教的信念に対して、たとえ理論上だけでも完全な自由を認めている。この自由が、例えばドイツ連邦共和国では非常に制限されていることは、自由資本主義の研究の中ですでに立証済みである：

いわゆる「自由民主主義基本秩序」(FDGO)があり、これが占領下のドイツ社会の結合基盤となり、それによって自由主義イデオロギー国家が確立されると考えられている。現実には、FDGOは、権力者にとって異質な要素の小さな層を維持するのに役立つだけである。

民主主義者が自らの原則-たとえば意見と集会の自由という基本的な権利-を日常的に無視する一方で、普通の人々のための真の権利-たとえば働く権利-はまったく存在せず、基本法の統一戒律が実際の政治活動において完全に放棄されているため、国民生活の感覚は試みられることすらないのである。

基本法は、理論的には全くダメというわけでもないが、我が国の共通の思想的基盤としては決定的に不適當である。ビジョンも目標もない支配者集団による権力の維持は、拘束力のある基盤とはなりえない。

しかし、システムが敵視せず、一種の宮廷芸人としてしか見ていないそのような集団が使える残りの自由は、わが国民の団結を妨げ、未来の崖の上に無力に漂わせるのに十分である。

したがって、われわれ国家社会主義者にとって、西側の法律および社会制度は、道具的な意義しか持ち得ない。我々は、人民のために安全な未来への道を開くために、民主主義者の法律を排除しようとする意志のもとに、その法律を認識する。私たちは、私たちのヴォルキッシュな存在の意味を、別のところに求めなければならない。しかし、その意味の基本条件は、国家の存在そのものである。法と自由は不可分である。

ドイツ国民もまた、団結の権利と、民族生活を独自に形成する自由を取り戻さなければならない。大ドイツが行動可能な国家として組織されず、平和条約によってその存在を確保できない限り、ドイツの政治は常に暫定的で不確実なままである。わが国民の権利と自由を基礎としてのみ、フォルクスシュタートに関する我々の考察はその意味を見出すことができる。

先に述べたように、大ドイツはわが民族の自然権である。大ドイツのための闘いは、決定的な試金石である：

これは、誰がわが民族の権利と自由のために戦い、誰がそれについて話すだけなのかを示している。大ドイツを目指す闘いの中で、ドイツの自由運動が結集し、ここで民主主義はすでに、私たちの民族の運命

を形成し続ける道徳的権利を失っているのです！

世界情勢を考えれば、休戦から30年以上たっても統一がつかみどころのない目標であり続けたことは許されることです。しかし、民主主義者が今日、統一を目標とも課題とも認識させないようにしたことは、わが民族の歴史的使命に対する罪である。



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSCHRIFF DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934      Ausgabe 1273      26. April 2017 02.06

**Der Kampf geht weiter !**

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder da zu sein in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenstab, Vorhut, Verfügung und Volkshilfen haben nicht nur erreicht, das Land der gesunden Idee unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu erobern.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter- und Kampfgemeinschaften Schicksal als Schicksal im Kampf um die Erlösung unserer weißen Völker. Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Größe des hochgeliebten Volkstums ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist es, Adolf, den Volkstums - gegen alle weißen Völker (V) - zu bringen. Seine Mittel sind Erziehung, Überführung und Kampfschulung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenstab, ob im Propagandastab, bewacht oder auf einem Schicksalsschiff anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!  
Gerdhard Lauth



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**



**N.S.ニュース速報A**  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005      19.06.2022 (133)

**NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA**

フロントレポート  
モリーへのインタビュー  
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind ([www.movingtheancient.com/truth.htm](http://www.movingtheancient.com/truth.htm))に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増産期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




**the NEW ORDER**  
Number 176 (132)      Founded 1978      April 26, 2021 (132)

**The Fight Goes On !**

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitl Hitler!  
Gerdhard Lauth



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**

# NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト



**SS Defender against Bolshevism**  
by Reichsführer SS Heinrich Himmler  
**FOR DANMARK! MOD BOLSEVISMEN!**  
Translated from the SS Original

**John Stenius der Ältere Picture Book**  
**The Poisonous Mushroom**  
Translated from the Third Reich Original  
*Der Giftpilz*

Reinhold Beifuss  
**Hitler in Italy**  
**HITLER in ITALIEN**  
English / German    Deutsch / English

**SS Viewpoint - Vol. 9**  
**Wife and Family**

Theodor Fritsch  
**The Sins of High Finance**  
English - German / Deutsch - English

**Luftwaffe War Art**  
Die Luftwaffe im BOD  
English - German / Deutsch - English

**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO**  
**Fight Back!**



[nsdapao.org](http://nsdapao.org)  
Contact us to find out how YOU can help!